

— 東工大でペプチドの研究と陸上競技に打ち込む —

しばた こうき  
**柴田 幸樹**

2010年 瑞陵高校普通科 卒業  
東京工業大学大学院 修士1年

**東京工業大学第3類に進学 大学でも陸上競技部に所属し、今も陸上競技を継続している**

高校で陸上部に所属し、部活引退後は「東京に出たい」という一心で勉強し東工大に合格しました。世の中を便利にしている化学の応用分野にあこがれて第3類を選択し、今は大学院で陸上競技を継続しながら、ペプチドの構造に関する研究を行っています。

2014年 第93回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)

3部(大学院の部) 1500m 優勝 3分57秒85(大会新記録)

**瑞陵生はどんな大学生**

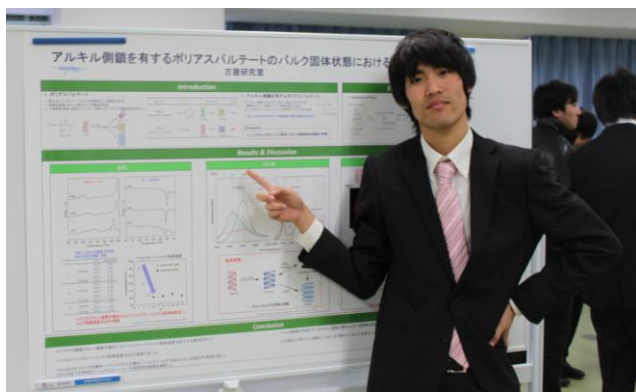
瑞陵生は進学先でリーダー的存在になる人が多いと私は思います。これは一人ひとりがよく考え、それぞれの目標に向かって自主的に行動できる校風であるからと考えています。私自身、大学の陸上部では主将を務め、今も自主的に考えて研究を進めています。瑞陵の環境で高校生活を送れたことを大変幸せに思っています。

**後輩の瑞陵生たちへメッセージ**

今の瑞陵を決めるのは、今の瑞陵生！

中学生のころに「瑞陵ってどんな学校？」と思ったことがあります。それと同じように、今の中学生も”今の瑞陵”に注目しています。それは中学生だけではなく、多くの人が注目しています。”今の瑞陵”がどうあるかを決めるのは、今の瑞陵生である皆さんです。皆さん一人ひとりが”今の瑞陵”を左右するという自覚をもって、そして誇りをもって毎日を送ってください。

私も瑞陵のOBであることをいつも誇りに思っています。瑞陵として関った全ての皆様に感謝申し上げます。



ポスターでの研究発表



関東インカレでのレース(写真先頭青)